

業 種	海運(貨物)
取組分野	見直しと継続的改善
テーマ	安全管理体制に係る見直し・継続的改善に関する取組み
取組の狙い	手順化を通じて、安全管理体制全般の見直し(マネジメントレビュー)と継続的改善の仕組みの構築・運用の充実を図る。
具体的内容	<p>マロックス(株)では、以下のとおり、ガイドライン5.(12)の「見直しと継続的改善」に関する取組みを適切に講じている。</p> <p>1. 安全管理体制の見直し</p> <p>(1)「経営陣による安全マネジメントシステムの確認」として、経営トップ及び安全統括管理者のかかる責務と手順を安全管理規程及び船舶輸送安全マネジメントシステムマニュアルに明記。</p> <p>(2)毎年1回、経営陣が、外部監査の結果、安全マネジメントシステムの検証結果、輸送安全衛生目標の達成状況、輸送安全衛生計画の実施状況、再発防止処置の実施状況、教育・訓練の実施状況、事故・災害の発生状況等をインプットとし、輸送の安全性向上のための基本方針の改訂・改訂の必要性の検討、設備・使用船舶の必要性の検討、輸送安全目標及び輸送安全計画の改訂・改訂の必要性の検討を指示する仕組みを構築。</p> <p>(3)上記仕組みに基づき、安全管理体制の見直しを実施。</p> <p>(4)見直しの結果、平成22年度は、備船先船主を内部監査員として監査を実施し、監査の充実を図るとともに、双方向のコミュニケーションを更なるものとする事とした。</p> <p>2. 安全管理体制の継続的改善</p> <p>従前の品質マネジメントシステムに関する是正処置・予防措置の手順を活用し、問題発生都度、是正措置・予防措置を講じる仕組みを構築</p> <p>2009年は、「ヒューマンエラーを無くすには」に注力し ヒューマンファクターを洗い出す能力向上に向けて、部門長及び部安全衛生担当者を本社に集め、「事例でわかるヒューマンファクター」西日本旅客鉄道(株)安全研究所著を配布、精読。自社に置き換え、職場でのエラーファクターは何かを見出す力を培養、その後の日々の管理者の巡視を巡視(思)とし、職場スタッフの行動に着眼、不安全要因の発掘に力を入れた。</p> <p>2010年は、「油漏れ未然防止について」注力予定。</p>
取組の効果	安全管理体制全般の見直し(マネジメントレビュー)と継続的改善について、手順化を図り、実施体制、手法等を明確にすることにより、それぞれの取組みの仕組みを構築するとともに、実施内容等の充実化につなげている。
事業者名	マロックス(株) (連絡先:安全品質環境推進部 電話 082-251-3238)